

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市清水うしおワーク		
課 名	障害福祉企画課		
指定管理者名	社会福祉法人静岡市しみず社会福祉事業団		
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和7年6月2日（月）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 寺田 和弘（障害福祉企画課長） ②委 員 清水 一弘（障害者支援推進課長） ③ “ 鈴木 芳紀（清水障害者支援課長） ④ “ 牧野 善裕（静岡市重症心身障害児（者）を守る会） ⑤ “ 佐野 可代子（静岡市清水手をつなぐ育成会）		
評価点 (各委員平均点)	82.8点	評価	A・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	総合評価結果を踏まえ、事業は計画どおり実施され、概ね良好な施設運営であったと考える。 高い評価があった点は次のとおり。 ・多機能施設（生活介護と就労継続支援B型のふたつのサービスを一つの施設で提供）である特色を生かし、他の事業所での受け入れを断られてしまった方を受け入れるなど、多様な対応が出来ている点 ・積極的なボランティアの受け入れや大学や専門学校の実習生の受け入れを行い、福祉人材の育成に寄与している点 課題としては、前期間に設定した5年後の目標設定において、登録利用者数が54名に対し、令和6年度末の登録利用者数が45名と未達成であることを踏まえ、利用者増加に向けて継続して取り組む必要がある。 現利用者の満足度については、継続して上昇傾向にあるため、今後も継続して利用者等との良好な関係を構築していきたい。		

総合評価結果総括表

施設の名 称 [静岡県清水うしおワーク] 課名 [障害福祉企画課]
 指定管理者名 [社会福祉法人静岡市しみず社会福祉事業団]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認 【配点50点】						
(1) 履行状況の確認						
(ア) 事業計画書等 に示された事業が予定どおり、円滑に実施された	5	4	4	5	3	4.2
(イ) 仕様書に掲載されている 5 年後の目標を達成しているか (登録利用者数54名)	4	4	4	4	2	3.6
(ウ) 事務事故等を防止するための取組が行われた	4	4	4	5	3	4
(2) 適正な人員配置						
(ア) 専門的な資格を有した人員について、適切な人事配置が行われた	4	4	4	5	4	4.2
(イ) 施設運営必要となる職員の教育・研修が計画的に実施された	5	4	4	5	3	4.2
(3) 施設の適切な保守・管理・点検・清掃等						
(ア) 専門技能を有した第三者への業務委託等を実施し、施設・設備の保守・ 管理・点検・清掃等が適切に実施された	4	4	4	5	4	4.2
(イ) 緊急時・事故発生時において迅速な対応と市への連絡・報告がなされた	4	4	4	4	4	4
(ウ) 災害時 B C P 事業継続計画書を整備し、適切な防災・緊急訓練等が定期的 に行われた	4	4	4	4	4	4
(4) 会計・庶務事務等						
(ア) 健康診断の実施など、利用者の健康把握に配慮し、また個人情報の保護 が適正に行われた	4	4	4	5	4	4.2
(イ) 適切な経理がなされており、健全な運営がなされた	4	4	4	5	4	4.2
小 計	42	40	40	47	35	40.8
2 指定管理者の創意工夫 【配点15点】						
(ア) 指定管理者のもつ専門性・技術・ネットワーク等を活かした事業が実施 された	5	4	4	5	4	4.4
(イ) サービスの質の向上に向けた取組が積極的になされた	5	4	5	5	3	4.4
(ウ) ボランティアや体験学習の受入れ等に対する姿勢や体制を確立した	4	4	4	4	4	4
小 計	14	12	13	14	11	12.8
3 市民（利用者）のサービスの向上 【配点15点】						
(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けた	4	3	4	5	4	4
(イ) 利用者満足の上昇のため、専門的知識、技能職得等職員の資質向上がな された	5	4	4	5	4	4.4
(ウ) 利用者及び保護者からの意見を積極的に収集する体制を構築し、寄せら れた意見等の対応が適切になされた	4	4	4	5	3	4
小 計	13	11	12	15	11	12.4

4 施設固有の評価項目	【配点20点】					
(ア) 地域と利用者、また利用者同士の交流を図る等、開かれた施設運営が行われた	5	4	5	5	4	4.6
(イ) 利用者にとってサービスの向上（利用者に応じた生活支援、生産活動の機会や送迎サービスの提供等）を図る取組が積極的に行われた	5	4	4	4	4	4.2
(ウ) 利用者との良好な関係の保持のための取組が積極的に行われた	4	4	4	5	4	4.2
(エ) 定員に対する利用者の現状を把握し、利用率の向上に向けた取組が行われた	4	4	4	5	2	3.8
小 計	18	16	17	19	14	16.8
合 計	87	79	82	95	71	82.8

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】
○ 履行状況の確認について ・専門性の高い研修へ積極的に参加している。 ○ 指定管理者の創意工夫について ・多様なレクリエーション活動を実施できている。 ・多くの実習生を受入れ、福祉人材の育成に協力できている。 ○ 市民（利用者）のサービスの向上について ・満足度が年々上昇傾向にある。 ○ 施設固有の評価項目について ・就Bで行っている地域の古紙回収は、地元の要望に応えながら柔軟に対応しており、地域貢献ができている。
【B評価委員】
○ 市民（利用者）のサービスの向上について ・（ア）において80%未満の年度があるなどのことから3点とした。
【C評価委員】
○ 指定管理者の創意工夫について ・（イ）生活介護と就Bが併設されていることから、福祉的就労の前段階の利用者も受け入れられるよう取り組まれている。 ○ 施設固有の評価項目について ・（ア）古紙回収を通じて、地域に出てあいさつなどで交流する機会を意識的に設けている。
【D評価委員】
○ 履行状況の確認について ・活動中、作業中の事故に関して、利用者の障害特性を考慮した日頃の対策と共に、居場所の構造化を行ない、刺激を減らす工夫もしながら見守りも必要かと思われます。 ○ 指定管理者の創意工夫について ・ボランティアの受け入れには、利用者さんに配慮した環境を整えた上での実践が大切かと思われます。更にボランティアさんへは、事前の（ミニ）研修、説明、注意点などの説明が必要です。ボランティアさんによる刺激も考え、利用者さんのストレスにならないよう取組まれてほしいと思います。 ○ 市民（利用者）のサービス向上について ・施設内外からの苦情に誠実に応えられており、必要な対策も実施されていると思います。（世の中の人がもう少し寛容であってくれればと願うばかりです） ○ 施設固有の評価項目について ・職員の皆さんの努力がすべて報われてほしいと思います。
【E評価委員】
○ 履行状況の確認について ・4件の事故の対応は、評価できる（当日1 当日保護者2 翌日1）が、ヒヤリハットや虐待の報告はなく、改善のネタが活用できない。苦情の分析や対応も甘い。 ・他事業所もそうだが、受講研修のら列だけではわからないので、職種名やテーマ（ねらい）などで分類して表示した方がいい。 ○ 指定管理者の創意工夫について ・職員体制としては、あと利用者5人増に対して、余裕はあるか疑問

- 市民（利用者）のサービスの向上について
 - ・ご意見箱の設置は、その中のご意見の件数、内容、対応などの説明も必要。
- 施設固有の評価項目について
 - ・生活介護の利用者がへっているのは、サービスの改善で補えるものか？
 - ・定員目標に対する利用率の向上の努力、工夫は何かあるか

評価委員会としての意見

生活介護事業と継続就労支援B型を併せ持つ施設として、他施設から利用を断られた方の受入を行う等、多機能型の強みを生かし運営がされていると評価する。

満足度調査では、利用者等からの指摘が散見されるが、利用者のニーズに合わせた送迎や就労意欲を伸ばす取組を実施する等、積極的な運営改善が行なわれていると評価する。

また安定した収入を得られていることから、収入面においても健全な運営がなされていると評価する。

多機能型の良さも難しさもある環境の中で、多様で個性豊かな利用者の日中活動を支援していく苦労があると感じるため、今後は関係機関等の協力体制を構築する等、職員の負担を減らす工夫も検討してほしい。